

林野庁入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日:平成21年10月13日)

開催日及び場所		平成21年8月25日(火曜日)林野庁会議室			
委員		栗田 誠(大学教授) 志賀 和人(大学教授) 井原 俊一(ジャーナリスト)			
審議対象期間		平成21年4月1日～平成21年6月30日			
審議対象案件		152件	うち、1者応札案件25件 契約の相手方が公益社団法人等の案件3件		
抽出案件		11件 (抽出率7%)	うち、1者応札案件9件 (抽出率36%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 (抽出率33%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	- 件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件	
		指名競争	公募型指名競争	- 件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			工事希望型競争	- 件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			その他の指名競争	- 件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
		随意契約	- 件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件	
	業務	一般競争	- 件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件	
		指名競争	公募型競争	- 件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			簡易公募型競争	- 件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			その他の指名競争	- 件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
		随意契約	公募型プロポーザル	- 件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			簡易公募型プロポーザル	- 件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			標準型プロポーザル	- 件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			その他の随意契約	- 件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
		物品・役務等	一般競争	6件	うち、1者応札案件5件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
			指名競争	- 件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
	随意契約(企画競争・公募)		5件	うち、1者応札案件4件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件	
	随意契約(その他)		0件	うち、1者応札案 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件	
	(特記事項)				
	1. 審議対象期間においては工事、業務の契約締結はない。 2. 会計法令に基づき都道府県と随意契約した95件を除き抽出した。				
	委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問		
回答等					
		(詳細に記述すること。)			
		(詳細に記述すること。)			
		(別紙のとおり)			
		(別紙のとおり)			
委員会による意見の具申又は勧告の内容		該当なし			
[これらに対し部局長が講じた措置]		<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin-right: 20px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> </div>			

事務局: 林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

(別紙)

平成21年度第2回林野庁入札等監視委員会審議概要

	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>物品・役務関係</p> <p>〔抽出番号1：平成21年度森林資源調査データによる動態変化解析事業〕</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・仕様書にある委員会名簿（案）に記載されている研究所が専門家として受託者に適していると思われるが、なぜ（株）パスコが受託したのか。また、当該会社の概要を説明されたい。</li><li>・初回公告で応募のあったほかの株式会社（1社）はどのような会社なのか。（当該物件は初回入札が不落のため再公告を実施し入札したものである。）</li><li>・初回に応募のあった株式会社が再度入札に参加しなかった理由は何か。</li><li>・当該事業は19年度から3年間の事業であるが、過去（19年度、20年度）の受託者は誰か。</li><li>・森林資源調査のデータ収集調査事業で、今回の委託調査事業に関係する業者はあるのか、また、（株）パスコの関わりはあったのか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・応募要件として、研究所が入札に参加することを排除してはいないが、今回は応札がなかったものである。（株）パスコは、空中写真や森林空間データ処理等を行う専門メーカーで、多くの知見を有している会社である。</li><li>・森林資源モニタリング調査等も実施できる会社であり、現地調査を主に行っている会社である。</li><li>・詳細は不明である。会社として受託額に折り合いがつかなかったのではと推測されるが、真意は不明である。</li><li>・過去、2年連続で（株）パスコが受託している。</li><li>・過去の調査事業は補助事業で、都道府県が事業実施主体として実施している。都道府県からの調査の委託の入札に参加している業者は多数ある。また、（株）パスコについても入札に参加して都道府県から委託された調査を実施したケースもありえると思われる。</li></ul>
	<p>〔抽出番号2：平成20年度森林及び林業の動向並びに平成21年度森林及び林業施策の編集等支援業務（平成21年度）〕</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・当該契約については、随意契約となっているが、他省庁でも同様なのか。</li><li>・当該印刷物としては契約金額が高く企画性及び修正作業の多さを考慮されているものと推測するが、単純な印刷物であるのに随意契約を行う必要は何か。</li><li>・一般の印刷業者ではなく（社）全国林業改良普及協会と契約しているのは何故か。</li><li>・白書の印刷物は本年度に応募のあった2団体が主に行っているのか、これまでの状況はいかん。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・当省の農業白書は企画提案会等を経て随意契約で実施、水産庁では一般競争で実施しており、他省庁についても様々である。</li><li>・通常の印刷物は原稿が出来上がり後に発注を行うが、白書については審議会に諮っており作成期日まで原稿修正、写真の差し替えが行われること等から随意契約を行っている。</li><li>・当該業務は企画提案により実施しており一般業者を排除しているものではない。昨年度は一般業者の応募もあったが、本年度は2法人のみの応募であった。</li><li>・本年度については2者の応募であったが、説明会の参加者は4者である。</li></ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・納品数量が3,400部となっているが政府刊行物で販売しているものも含んでいるのか。</li> </ul>	<p>昨年度は外の法人が契約相手方であるが、他に一般業者の2者から応募があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3,400部は基本的には国会提出用である。</li> </ul>
<p><b>〔抽出番号3～6：平成21年度森林資源活用型ニュービジネス創造対策事業（大規模低コスト型製造システム、高付加価値型製造システム、小規模分散型システム）〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模低コスト型システムについては、昨年度において抽出して審議したところであるが、他の3件についてはまとめて契約はできないのか。</li> <li>・補助金額等においては中間評価が実施されているが、この事業（5カ年事業）のように1者で継続（随意契約）されるものについては中間評価等を実施しないのか。</li> <li>・初年度実施した事業については、評価等は実施されたのか。</li> </ul> <p>・小規模分散型製造システム（マイクロ波応用液化タイプ）の契約（随意）相手が栃木県森林組合連合会なのは何故か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術的な部分は再委託して全体管理の重要な部分を担っているとのことであるが、他の抽出3件は技術的な能力を有する者に委託しているのと比較すると契約相手先として疑問に思った次第である。</li> <li>・委託又は再委託事業により得た技術の権利はどうなるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大臣官房経理課長通知により実施しているところあり、単年度契約を実施せざるをえない。</li> <li>・毎年評価委員会を開催する考えであり、本年度は外部委員による評価委員会の開催を検討しているところである。</li> <li>・大学教授、市場関係者を含めた外部者からなる審査委員会を設置し審査した結果優良な課題として推薦を頂いたものに取り組んでいるところである。</li> <li>・バイオエタノール事業については工程を大きく分けると三つの工程からなっており、栃木県森林組合連合会はバイオ処理加工部分を担当するのに加え、事業全体の企画及び遂行管理を実施していることから当該連合会と契約しているものである。</li> <li>・共同提案の形式がとれないことから、栃木県森林組合連合会が実施主体となり技術的部分は再委託という形で参加しているものである。</li> <li>・委託又は再委託事業の技術的権利は、契約により国に帰属することとなる。</li> </ul>
<p><b>〔抽出番号7：空中写真撮影及びオルソ作成業務（第10奥会津）〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札筆記書で最下位である業者だけがかけ離れた入札金額になっているのは何故か。</li> <li>・当該応札者は7者であるが落札率で見ると98%となっており、1位の（株）パスコは予定価格を下回っているものの2位以下は予定価格を上回っているが、関係業界の受注状況によるものか。</li> <li>・予定価格の設定はどのように行っているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推測すると当該物件については落札する意識がなかったのではないかと思う。</li> <li>・業界の受注状況によるものと思われる。</li> <li>・基本的には他省と共通の歩掛かりを使用し、調布から撮影のベースになる地方空港までの距離、地区ごとの快晴日の危険率を算出し、滞在日数を約1カ所当たり2～3週間を乗じてさらに危険率を乗じて算出して</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険率の業界での考えはいかん。</li> <li>・本年度より一般競争入札に変更したことのメリット等はあるのか。</li> <li>・状況が変化すると応札者は増加する可能性はあるのか。</li> </ul>	<p>いる。</p> <p>また、離島は特注になるので、参考見積もり徴収し予定価格を決定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当庁は過去30年分位のデータを使用しているが、業者からの意見もあり、最近では今まで使用していた危険率を調整し引き上げているところである。</li> <li>・率直なところメリットは見受けられない。</li> </ul> <p>業者にとっては、毎年同様な書類を提出しなければならず手間が増加したこと、指名競争時と比較すると応札者の検討ができない状況にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業界全体の事業量が減少すると応札者の増加は有りえると思われる。</li> </ul>
<p><b>〔抽出番号8：国有林野情報管理システムに係る機器の賃貸借〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該契約は今回締結された者に限られる状況にあるよう思われるが、入札参加が増えるような方法はないか。</li> <li>・平成20年度も同社が受託したのか。</li> <li>・予定価格の設定方法はどのように行っているのか。</li> <li>・1年契約ではなく長期のリース契約を行えば安価になることはないのか。</li> <li>・契約書に記載されている会社名と入札筆記書の会社名に相違があるが何故か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発注にあたっては、機器の賃借、保守、運用を分割して発注しており、複数者の応札を想定し単年度契約により実施しているところである。</li> <li>しかしながら、入札説明会には複数者が参加しているが、システム開発した者に有利性が働き、結果的に1者応札となっている。</li> <li>・契約者は平成18年度までシステム開発を行っている。平成19年度からの賃貸借契約に当たっては、3者から見積もりを徴収して随意契約を行っているが、結果的に同一の者が受託している。</li> <li>・使用する機器の価格を調べてリース料率を設定し、保守料については聞き取り調査を基に積算している。</li> <li>・制度上、認められていないので単年度で行わざるをえない。</li> <li>・委任状により応札が行われたため、入札筆記書には委任を受けた社を記載したため。</li> </ul>
<p><b>〔抽出番号10：平成21年度森林国営保険事業に関する補助サービス業務（新国営）単価請負契約〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の随意契約から一般競争契約に変更した理由は何か。</li> <li>・規定上、何か理由がつかうのではないか。</li> <li>・説明資料に単価があるが、単価に仕事量を乗じると価格がでるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当省官房からの指導により一般競争契約へ変更したものである。</li> <li>・原則、一般競争契約で行うよう指導されている。</li> <li>・災害が多い年（例えば平成16年の災害）の翌年は仕事量が増加することから、単価による競争入札を実施している。</li> </ul>
<p><b>〔抽出番号11：研修用高性能林業機械ハーベスト仕様車賃貸借1台〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格についてはかなり正確な価格を設定できると思われるが、落札価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作メーカーと直接の契約となったことから差がでたものと推測する。</li> </ul>

<p>格と大きく差がでているのは何故か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明資料によると、扱える業者が少数であるとされているが、キャタピラー（株）の他に当該機械をリースする会社はありえるのか。</li> <li>・林野庁は当該機械を所有しているのか。</li> <li>・ハーベスタで現在研修で使用されている機械のメーカー、台数は。</li> </ul>	<p>また、他の契約においても予定価格と入札額に差がでているところであるが、メーカー聞き取りによると機械のPR効果も期待して応札したとのことである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該機械は注文生産されているので所有している会社はありえるが、リースするところは見あたらない。</li> <li>・所有しておらず、必要な場合はリースとなる。</li> <li>・ハーベスタは当該契約の1台のみである。</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <p>委員会の意見として正式に申し上げる件はない。個別案件を見ると難しい事案もあるが、どのような契約方法が望ましいのか、それぞれの発注方法のなかで公平性、透明性、競争性をどのように確保していくのか、検討して実施していただきたい。</p>	